

地球温暖化の影響

地球温暖化が進行すると、夏の猛暑や強い雨が更に激しくなり、暑さによる健康被害、大雨による土砂災害や水害、高温による農作物の被害などの影響があると考えられています。



「出典：気候変動適応情報プラットフォーム」

気候変動(地球温暖化)に対しては、緩和策(温室効果ガスの排出削減など)はもちろんのこと、被害の回避・軽減を図る適応策に取り組むことが重要とされています。(参照：気候変動適応計画、環境省)

地球温暖化の影響や適応については、気候変動適応情報プラットフォームをご参照ください。



予測シナリオとは

本リーフレットでは、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書(AR5)で用いられたRCP2.6シナリオとRCP8.5シナリオに基づき将来予測を行っています。

RCP2.6シナリオでは、21世紀末(2081~2100年)の世界の平均気温が、工業化以前(※)と比べて0.9~2.3℃上昇する可能性が高いことから、本リーフレットでは「**2℃上昇シナリオ**」と表記しています。これは、**パリ協定の2℃目標が達成された世界**であり得る気候の状態に相当します。RCP2.6はIPCC第6次評価報告書(AR6)のSSP1-2.6に近いシナリオです。

RCP8.5シナリオでは、21世紀末(同上)の世界の平均気温が、工業化以前と比べて3.2~5.4℃上昇する可能性が高いことから、本リーフレットでは「**4℃上昇シナリオ**」と表記しています。これは、**追加的な緩和策を取らなかった世界**であり得る気候の状態に相当します。RCP8.5はIPCC AR6のSSP5-8.5に近いシナリオです。

※ 1750年以前を指しますが、世界的な観測が行われるようになった1850~1900年の観測値で代替しています。

全国の情報

「日本の気候変動2020」、文部科学省、気象庁、令和2年12月。



北海道の情報

「北海道の気候の変化」、札幌管区気象台。本リーフレット未掲載の図を含む詳細情報をご覧ください。



問い合わせ先

室蘭地方気象台
室蘭市山手町2丁目6-8

TEL: (0143)22-4249

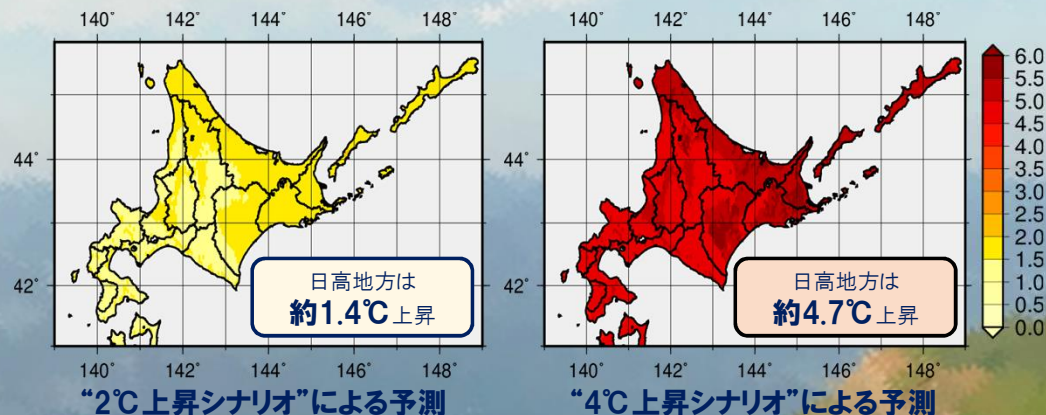
札幌管区気象台
札幌市中央区北2条西18丁目2

TEL: (011)611-6174

日高地方の気候変動

「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁)に基づく地域の観測・予測情報リーフレット

年平均気温の将来予測(21世紀末と20世紀末の差)



2℃上昇シナリオ(RCP2.6)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。パリ協定の2℃目標が達成された世界。

4℃上昇シナリオ(RCP8.5)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。追加的な緩和策を取らなかった世界。

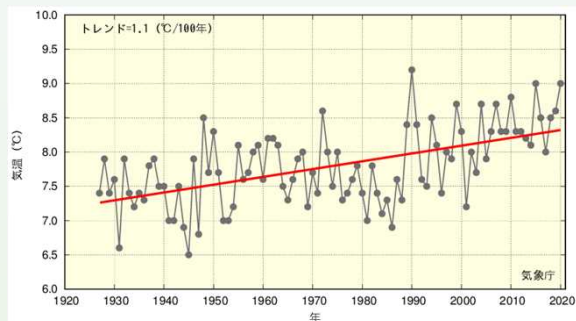
令和4年3月
室蘭地方気象台・札幌管区気象台

これまでの気候の変化

気温の変化

浦河は、

年平均気温が100年あたり**約1.1℃**の割合で上昇しています。



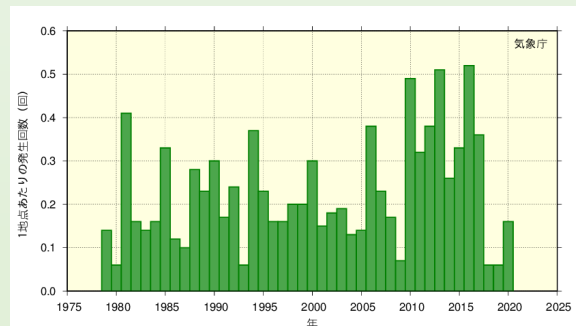
※ 20世紀末(1980-1999年平均)の浦河の年平均気温は7.8℃。

浦河の年平均気温(1927~2020年、単位:℃)
折線(黒)は各年の気温、直線(赤)は長期的な変化傾向を示しています。

雨の変化

北海道は、

短時間強雨の発生頻度が約30年前と比較して**約1.6倍**に増加しています。



※ 最近10年間(2011~2020年)の平均年間発生回数(約0.30回)が、統計期間の最初の10年間(1979~1988年)の平均年間発生回数(約0.19回)と比較して約1.6倍に増加しています。

北海道地方の短時間強雨(1時間降水量30mm以上)の年間発生回数の経年変化(1979~2020年、アメダス1地点あたりの発生回数)

雪の変化

北海道日本海側は、

年最深積雪が減少しています。

※ 年最深積雪の基準値(1991~2020年の30年平均値)に対する比(%)が、10年あたり約5%の割合で減少しています。統計期間は1962~2020年。

これからの気候の変化(21世紀末)

気温、雨、雪の変化

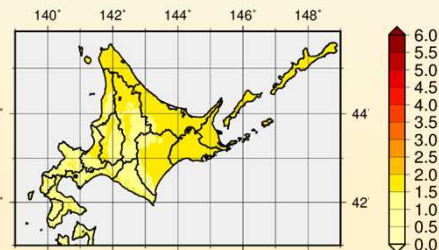
日高地方は、

年平均気温が**約1.4℃**上昇します。

北海道は、

短時間強雨(1時間降水量30mm以上)の発生頻度が**約1.7倍**に増加します。

年最深積雪が**約12%**減少します。



年平均気温の変化

真夏日	3日程度増加	↑
真冬日	18日程度減少	↓

日高地方の真夏日と真冬日の変化
真夏日: 日最高気温30℃以上
真冬日: 日最高気温0℃未満

※ 21世紀末(2076-2095年の平均)の予測と20世紀末(1980-1999年の平均)の値を比較しています。雨や雪について、地域ごとの予測は不確実性が高いことに注意してください。

気温、雨、雪の変化

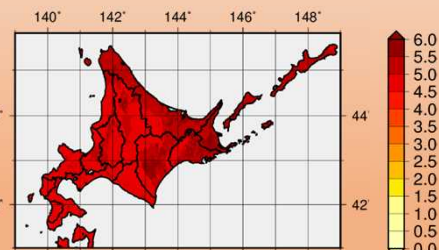
日高地方は、

年平均気温が**約4.7℃**上昇します。

北海道は、

短時間強雨(1時間降水量30mm以上)の発生頻度が**約4.1倍**に増加します。

年最深積雪が**約44%**減少します。



年平均気温の変化

真夏日	26日程度増加	↑
真冬日	39日程度減少	↓

日高地方の真夏日と真冬日の変化
真夏日: 日最高気温30℃以上
真冬日: 日最高気温0℃未満

※ 21世紀末(2076-2095年の平均)の予測と20世紀末(1980-1999年の平均)の値を比較しています。雨や雪について、地域ごとの予測は不確実性が高いことに注意してください。

2℃上昇シナリオ
(パリ協定の2℃目標が達成された場合)

4℃上昇シナリオ
(追加的な緩和策を取らない場合)